

point

②①あ < ①い > ③ =

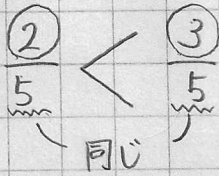
まず分母を見て、ちがっていたら
同じにすると解けるよ。



(解説)

①分母が同じ場合

分子が大きい方が大



②分母を同じにする。

$$\frac{2}{5} \times \frac{7}{7} = \frac{2 \times 7}{5 \times 7} = \frac{14}{35}$$

それぞれの
□を
分子分母に
かけると

5×7の最小公倍数を
さがす

$$\frac{2 \times 5}{7 \times 5} = \frac{10}{35}$$

$$\frac{14}{35} > \frac{10}{35} \quad \text{だから} \quad \frac{2}{5} > \frac{2}{7}$$

③分母を同じにする。

$$\frac{2}{5} \times \frac{4}{4} = \frac{2 \times 4}{5 \times 4} = \frac{8}{20}$$

$$\frac{8}{20} = \frac{8}{20} \quad \text{だから} \quad \frac{2}{5} = \frac{8}{20}$$

Point

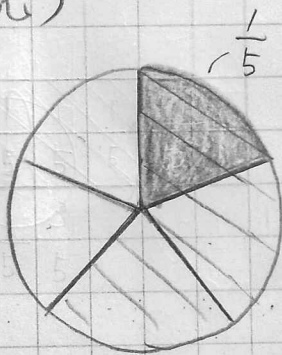
図で表すと
分かりやすいぞ。



②あ 3/5 ①い 1/7

(解説)

①あ



②い

1/7

